

クライアントが

逮捕された。

どう支援したらいいのかわからない・・・

加害者・非行少年・加害者家族

まるっと支援セミナー — 司法編 —

- 日時：全3回(1回のみ参加も可) 12:00～17:15
- 方法：オンライン (zoom) ■定員：50名
- 対象：臨床心理士/公認心理師、弁護士など
司法関係者、支援に携わる有資格者
- 参加費：各回5,000円(税込)

■テーマ① 知ってますか？加害者家族支援 ①9月23日(金)

■テーマ② 暴言・暴力行為の改善について
～生まれた時はみんな赤ちゃんだった～ ②10月29日(土)

■テーマ③ 非行・問題行動のある子どもの
見立てとカウンセリング ③11月19日(土)

■申込み：右のQRコードから仮予約申し込み後、振込先をメールでお送りします。お振込後に予約完了となり、zoom URLをお送りします。振込後は返金いたしませんので、ご了承下さい。(申込および振込期限は、各回1週間前まで)

■問い合わせ：nakatsusinri@gmail.com 担当：笠谷
HP:<http://osaka-shinri.site/>

■全講座終了後、臨床心理士のポイント申請予定。



詳細は裏面

■テーマ①知っていますか？

加害者家族支援

学校・病院・福祉などこの現場においてもクライアントが加害者として、時に逮捕勾留されることがあります。その加害者の家族は**3つの見方**（犯罪要因としての家族・犯罪抑止としての家族・被害者としての家族）がされています。日本では珍しい**加害者家族支援**を専門とするNPO法人スキマサポートセンターでは、臨床心理士が中心に支援活動をしています。加害者の問題の陰に隠れている加害者家族の悩みや生きづらさ、その支援についてお伝えします。

■講師：佐藤仁孝

臨床心理士・公認心理師。**NPO法人スキマサポートセンター**理事長。2015年に日本では数少ない加害者家族支援の団体として立ち上げ、400件の支援に関わる。「加害者家族支援の理論と実践（現代人文社）」「犯罪加害者家族支援～臨床心理士として知っておきたいこと～（日本臨床心理士会会報）」等、執筆。

■講師：竹下三隆

臨床心理士・公認心理師。**元法務教官**。スクールカウンセラー。少年院や刑務所にて、入所者や受刑者の暴力行動・性犯罪や薬物依存症の改善プログラムの教育・指導経験が豊富。

■テーマ②暴言・暴力行為

の改善について～生まれた時はみんな赤ちゃんだった～

少年法改正・拘禁刑の導入など、時代に応じて変化する矯正教育。少年院や少年刑務所など矯正施設において、心理士がどのようなプログラムを組み、問題行動の改善を行っているかを知り、**少年の成育環境や背景にある被害者性**に目を向けることで、少年を"悪者"と捉える姿勢が変わります。元法務教官の現場での経験をもとに、旧来のやり方とこれからの関わり方の差を振り返りながら暴言・暴力行為へのかかわり方について考えます。

■テーマ③ 非行・問題行動のある子どもの見立てとカウンセリング

子どもが事件を起こした。警察に捕まった。鑑別所に入った。このような少年事件が起きた場合、何をどうすればいいのか、迷うこと、わからないことが少なくありません。今回の研修では、**少年事件の手続**の概要のおさらいした上で、事件を起こした子どもの見立てと指導、また、保護者をはじめとする加害者家族への支援、親子関係の調整について**実践例**に基づいて講義します。

■講師：坂野剛崇

臨床心理士・公認心理師。**元家庭裁判所調査官**。大阪経済大学教授。非行少年のアセスメント及び、カウンセリングに携わる。主な著書・論文「少年の非行からの立ち直りのプロセスに関する一考察」、「家庭裁判所の機能と現場『司法福祉・実践と展望（ぎょうせい）』」